

1 新博物館の必要性

(1) 豊田市を取り巻く状況と課題

市域の拡大、流入人口の多さがもたらす歴史・文化の多様性	地域の歴史・文化に対して興味を持つ市民の増加	社会の転換期におけるまちづくりに対する発想の転換
-----------------------------	------------------------	--------------------------

「WE LOVE とよた」の気運の高まり

新豊田市としての歴史・文化の共有と、市民のアイデンティティの確立	市民の学習支援充実と、学校教育との連携強化	歴史・文化を活かした、市民の生きがいや地域の新たな価値・魅力の創出
----------------------------------	-----------------------	-----------------------------------

(2) 豊田市郷土資料館における課題

①施設・立地

- ・開館後 50 年たち、老朽化による施設の不備・不足が著しい
- ・浸水区域にあるため、市の宝の保管・継承施設として不適

②収集・保存

- ・収蔵庫や展示施設が狭く、温湿度調整機能などの設備も不足しているため、貴重な文化財の収集・保存や公開が行えない

③調査・研究

- ・市民が学習したり発信する機会や場が確保できない

④展示・公開

- ・新豊田市全体を紹介する展示になっていない
- ・展示面積が狭いため、特別展の際には常設展がみられない
- ・ハンズオン^{※1}や映像、体験型プログラム等がない

⑤教育普及

- ・郷土学習スクールサポート事業^{※2}に必要な設備が不十分(学習空間・機能、大型バスの駐車場、昼食スペース等)
- ・とよた歴史マイスター^{※3}など、市民の活動スペースがない
- ・市内の地域・個別資料館への支援・活用が不十分

市民と来訪者が市全体の歴史・文化を知る施設がない

新博物館の整備が必要

※1：実際に資料などに触ったり、動かしたりする体験型展示
 ※2：豊田市郷土資料館が推進する、市内の文化財(考古資料・文書・遺跡など)を学校教育で活用できるように、市内の学校向けに実施している授業のサポート
 ※3：豊田市郷土資料館が認定する、豊田市域の歴史・文化財について関心を持ち、学び、伝える活動を行う人々(H28年度現在：64名)

2 基本的な考え方

(1) 基本理念

ふるさと力創造・発信拠点

多様な自然・文化的背景をもち、様々な出身地の人々が集い暮らす豊田市。ここは、あなたの暮らしに気づきをもたらす、「ふるさと力」を育てるためのみんなで作る博物館です。

「ふるさと力」とは……

- ①一人ひとりが自ら「ふるさとを大切に思う力」
- ②交流や活動を通して再発見する「ふるさとの魅力」「ふるさとをつなぐ力」
- ③多様な歴史・文化・自然と、多様な価値観が会うことによって生みだされる「ふるさとの創造力」

(2) 新博物館の使命

- 1 市民と共に豊田市の歴史・文化財・自然を発見し、守り、未来へ伝える
- 2 身近なきっかけや体験から主体的な学びを育む
- 3 多様な人々や文化が会う場となり、豊田市の魅力や新たな価値を生み出す

3 新博物館の機能とめざす姿



博物館基盤機能 収集・保存 調査・研究 展示・公開

豊田市のあゆみを物語る資料を収集・調査し、その価値・魅力を発信する

- 歴史とそれに関わる文化財・自然を一体的に扱う県内唯一の総合博物館として、矢作川の源流から三河湾までを俯瞰した上で、豊田市の歴史と現在・未来を位置付ける。
- 貴重な資料を次世代へ継承するため、収集・保存、調査・研究、展示・公開など博物館の基盤機能を充実する。

新博物館の魅力

- 通史とともに、豊田市ならではの歴史を体感できる！
 - ・天下に号令した徳川家のルーツである「松平家」のフロンティア精神、昭和期のモータリゼーションに挑んだ人々と地域が育んだ「ものづくり」等を知る
 - ・歴史的な出来事や精神がこのまちに今も息づいていることが感じられ、ふるさとのアイデンティティや誇りを実感できる
- ファミリーヒストリーにより博物館が成長する！
 - ・市民が自分や家族が体験した出来事を登録し「ファミリーヒストリー」を集積することによって、博物館で新たな豊田市の歴史を紡ぎ出す
 - ・自分もその歴史の一部であることを感じ、豊田市が身近に感じられる、また来たくなる
- 地域の発展や存続に役立つ！
 - ・人と自然との関わりを振り返り、新たな知を探ることで、地域の発展を目指す
- 博物館としての充実した機能！
 - ・博物館法における登録を受けた「登録博物館」、文化庁による国宝・重要文化財の「公開承認施設」を目指す
 - ・市内の指定文化財を積極的に受け入れ、未来に継承し、積極的な公開・活用を図る



市民と共に新たな価値を創造するために必要な機能

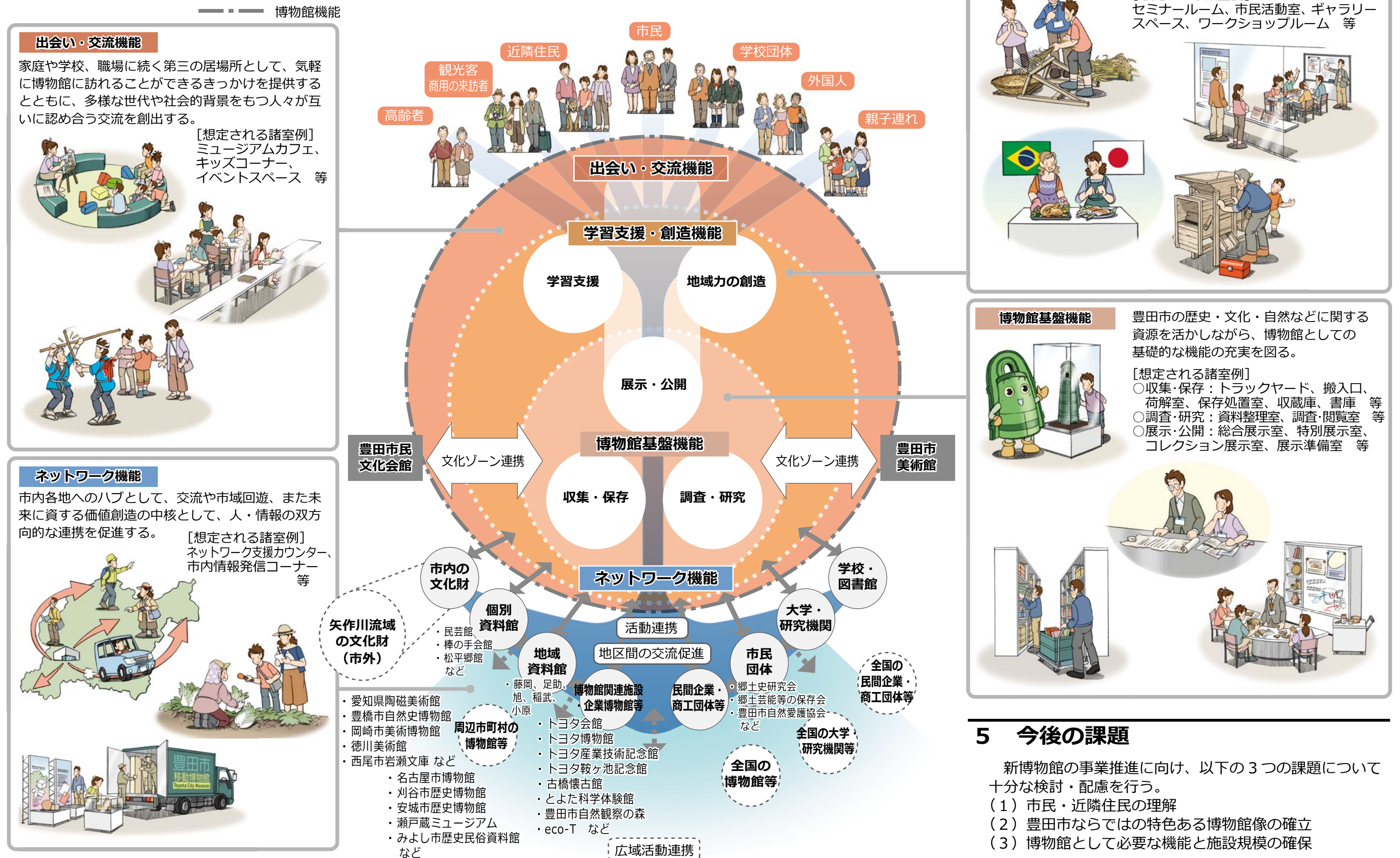
出会い・交流機能
多様な人々が集う場や機会をつくる

学習支援・創造機能
市民の郷土愛や活力・活動を育む

ネットワーク機能
地区間の回遊と交流を促進する

4 新博物館の機能と事業活動の展開イメージ

以下のような博物館機能の構成により、多様な来訪者が博物館を利用し、興味を深め、博物館の多様な活動へと参画していく仕組みを構築する。



5 今後の課題

新博物館の事業推進に向け、以下の3つの課題について十分な検討・配慮を行う。

- (1) 市民・近隣住民の理解
- (2) 豊田市ならではの特色ある博物館像の確立
- (3) 博物館として必要な機能と施設規模の確保